

# 生態系を活かした気候変動適応と生態系の機能評価 (EbA : Ecosystem based Adaptation)

生態系がもつさまざまな機能を活かし、気候変動によるリスクや損失を軽減するアプローチ

国立環境研究所 気候変動適応センター 西廣淳 副センター長

**研究内容** EbAとは、Ecosystem-based Adaptation あるいはEcosystem-based Approach for Climate Change Adaptationを略した言葉で、日本語では「生態系を活かした気候変動適応」と訳されます。国立環境研究所では、気候変動適応にも寄与する生態系の機能評価の研究を進めています。

図 NbS（自然を活用した解決策、グリーンインフラ）、EbA（生態系を活かした気候変動適応）、Eco-DRR（生態系を活かした防災・減災）の概念の相互関係



## 応用例

住宅地に残存する緑地：水源涵養機能、生物多様性保全、環境教育の場の提供などの機能を調査中



琉球列島や太平洋島嶼国のサンゴ礁波浪軽減や島の形成維持に寄与するEbAの例



**セールスポイント**  
さまざまな環境問題の中でも生態系や生物多様性に関する課題は、資金や投資の面で立ち遅れていました。しかしその状況は変化し始めています。気候・気象条件の不確実性が増す将来に向け、社会・金融技術 × 生態工学技術によるEbA推進策を目指して私たちと協働してみませんか。

## 研究キーワード

ネイチャーポジティブ・NbS・グリーンインフラ・適応・サンゴ礁・里山

## お問合せ先

国立環境研究所 連携推進部 研究連携・支援室

〒305-8506  
茨城県つくば市小野川1 6 - 2  
TEL:029-850-2472 FAX:029-850-2716  
MAIL: renkei\_r1@nies.go.jp

国立環境研究所 気候変動適応センター  
副センター長  
西廣淳  
<https://www.nies.go.jp/researchers/301506.html>

